

責任あるサイバー習慣を促進するための協力に関する日米豪印共同声明

我々、オーストラリア、インド、日本及び米国の日米豪印パートナーは、我々の国全体のサイバーセキュリティを改善するための啓発キャンペーンを開始する。我々は、インド太平洋及びそれ以外の地域のインターネットユーザーに対し、本チャレンジ (<https://www.cyberchallenge.tech/>) に参加し、安全で責任あるサイバー習慣を実践するよう呼びかけている。本チャレンジは、個人及びコミュニティのサイバーセキュリティに対する意識及び行動を強化し、また、経済及び全てのユーザーに利益をもたらす、より安全で強靱なサイバー・エコシステムを育成するための日米豪印の継続的な取組を反映している。

世界中のインターネットユーザーは、毎年数兆ドルを失わせ、また、高い機微性のある個人データを窃取し得る、サイバー犯罪及びその他の悪意あるサイバー脅威の標的となっている。多くのサイバー攻撃は簡単な防止措置で防ぐことができる。インターネットユーザー及びプロバイダーは共に、わずかな行動をとることで、サイバーセキュリティ及びサイバーの安全性を大幅に改善することができる。これらの行動には、日常的にセキュリティ更新プログラムをインストールすること、多要素認証を活用して強力な ID チェックを可能とすること、より強力なパスワードを使用し、また、日常的に変更すること、フィッシングのような一般的なオンライン詐欺の見破り方を知ることなどが含まれる。

本チャレンジは、企業、教育機関、中小企業及び小学生から高齢者までの個人など全てのユーザーに対し、基本的なサイバーセキュリティに関する情報及び訓練の機会を提供し、4月10日の週のイベントでクライマックスを迎えることとなる。日米豪印パートナーは、オンラインでスマート機器を使用する全ての人々が決定するために必要とされる十分な情報へのアクセスを有することを確保するために取り組んでいる。

我々が一丸となってサイバーの脅威からより守られるよう、より安全で、強靱なサイバー空間を促進するためにあなたやあなたの組織に何ができるかを学習してください。